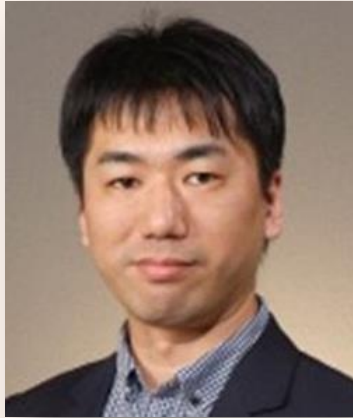


認知再構成法を実践する

～いまさら聞けない認知的介入のほんとのところ～



講師 田中 恒彦（新潟大学 准教授）

徳島大学大学院在学中から（2004年～）、うつ病、不安障害患者への心理的支援（認知行動療法）に取り組む。2011年から滋賀医科大学特任助教、同大学付属病院児童思春期外来担当カウンセラー。2014年ロンドン大学モーズレイ病院にて認知行動療法とスーパービジョンの研修を受ける。2016年4月より新潟大学で活動中。博士（医学）、臨床心理士、専門行動療法士。

日 時：2018年2月17日（土）10:30～16:30

場 所：信州大学教育学部キャンパス E401室

定 員：25名 参加費：5,000円（当日払い）

参加資格：心理支援関連の有職者であること（学生は指導教員の推薦が必要）



認知再構成法とは？

- ・ 認知（もののとらえ方や解釈の仕方）が変わるような体験を積み重ねることで、抑うつをはじめとするさまざまな気分の問題を解消します。
- ・ うつ病に対する認知行動療法の中でも、主な介入技法のひとつです。うつ病にかぎらず、さまざまな不安症や怒りの問題などにも応用できます。

本ワークショップで学べること

- ・ 認知再構成法をスムーズに進めるための面接技術
- ・ 自動思考をとらえるためのアセスメント法
- ・ 認知再構成を効果的におこなうためのホームワークの出し方
- ・ 認知再構成法ですべきこと／やってはいけないこと



参加申込受付 URL

<https://goo.gl/forms/vdiV7p1NtGaWeIv32>



お問い合わせ

nagano.cbt@gmail.com（ながの認知行動療法研究会事務局）